

平成 24 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 TLホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 浩二  
(JASDAQ・コード 3777)  
問合せ先 取締役経営企画管理本部長  
中澤 秀俊  
電 話 03-5809-1850

## 新たな事業（環境事業）の開始に関するお知らせ

当社は、5月16日開催の取締役会において、下記のとおり新たな事業（環境事業）を開始することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 新たな事業（環境事業）の趣旨

平成23年3月11日、東日本大震災に関わる東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故により、莫大な量の放射能物質が放出され1年余が過ぎました。昨年度より実施されたテスト除染を経て、ようやく除染作業が始まりつつあります。当社は、放射性物質によって汚染された地域で、環境や健康被害という危険に晒されながら生活を余儀なくされている住民、特に、未来ある子供達の為に、目に見えない放射性物質による環境や健康への被害を少しでも低減するため、社内に「福島除染・復興・復旧プロジェクト」を発足し、谷岡明彦東京工業大学名誉教授、関西電子株式会社（本社：東京都新宿区、社長：進士国広）、有限会社東京エコネット（本社：神奈川県横浜市、社長：近藤宏明）、及びミカサ商事株式会社（本社：大阪府大阪市、社長：中村公三郎）を中心とする「チームフクシマ」と協力し、3つの環境事業を開始することに致しました。

事業化の背景としましては、除染サービスの提供には、経験や知識を必要とするため、かつ労災の問題でボランティアにて実施することはできないため、当該サービスの事業化に至りました。

環境事業は、当社の定款に記載されており、その一環として当該事業を推進します。

#### 2. 3つの環境事業の概要

##### (1) 除染の請負事業

住宅や農地、学校や集合ビルなどの放射能を除去すると共に、放射能から防御することを目的とした事業です。

除染作業に当たっては、除染作業に関して経験と知識を有する専門家（福島原発勇志作業隊）や広島原爆被爆二世を採用し、除染作業チームを結成し、福島県の地元企業への支援また地元企業と協力して進めてまいります。

当社は、建物外部や敷地に加えて、交流電磁場電解水をスチーム噴射することにより、世界で初めて建物内部の除染を行います。また、除染の作業員を放射性物質から防護するため、世界で初めてナノ素材を用いた防護服を用います。

※除染の請負事業に先駆け、平成24年5月18日に、南相馬市において、テスト的デモ除染を行います。

##### (2) 除染や瓦礫処理に関するテクニカルオペレーター派遣事業

自治体やゼネコン、地元復興組合からの要望に対して、除染やがれき処理を行うテクニカルオペレーターを派遣する事業です。当社と発注者（自治体、ゼネコン、地元復興組合）にて契約を行い、発注者が要望する人数、スキル等にあうテクニカルオペレーターを、当社にて採用し派遣します。

##### (3) 除染関連の商材の販売事業

世界初の商業生産ベースのナノファイバーを用いた防護服、マスク用取替カバー、エアコンフィルター（室外機用、室内機用）、換気扇フィルター、車用外気フィルター、濾過フィルター、ガイガーカウンターなどを販売する事

業です。当社は、関西電子株式会社より、ナノ素材を布、綿、ガーゼ、紙の状態にして仕入れ、それを縫製工場にて加工し、除染が必要な家庭、企業、団体へ提供します。

### 3. 日程

平成 24 年 5 月 16 日	取締役会決議
平成 24 年 5 月 16 日	除染の請負事業開始
平成 24 年 6 月 1 日	除染関連の商材販売事業開始（予定）

### 4. 今後の見通し

当該新サービスの開始の伴う今後の業績に与える影響につきましては、現在精査中です。新事業の詳細等が確定しましたら、速やかに発表させていただきます。

以 上